

桜井市三谷『山野草の里』は、環境省が選定した生物多様性保全上の重要里地里山です。

里だより

2024.2月
NPO法人山野草の里づくりの会

20周年を機に里山の持続に向けて本会活動の見直しを開始しています。1月からFacebookで本会のイベントのお知らせ、里の情景、活動の様子などを掲載しています。これに伴い、里だよりの発行は毎月から年4回となります。お手元のスマートフォンやパソコンを使って是非、「山野草の里」のFacebookをご覧ください。

山野草の里
Facebook



1月の活動

1月は1年で最も気温の低い季節です。三谷「山野草の里」は平地より気温は4～5℃低いいため路面凍結等に注意しています。この1月も2日間活動が中止となりましたが、ほぼ計画通り冬の作業を行っています。里山林の整備作業は寒波の影響で一時中断しましたが、大和信用金庫の寄附金を活用した「大和川水系の水環境改善活動」としての事業に取り組んでいます。



小枝等の細断処理



小枝等の運び出し



斜面のクリの木伐採



里山林の整備

みんなでいかそうビオトープ 1月27日(土)

大人6人、子供10人、計16人が参加してくれました。平地より4、5度気温は低いのですが、子供達は元気で順番に杵を持って餅つきに挑戦しました。午後からは炭焼の話の聞いたり、薪割り機を使って薪づくりをする様子を見学したり、畑で白菜の収穫等冬の里山を体験、午後2時で終了しました。



クロガリ整備

毎回、朝1時間程度はクロガリ整備を行います。冬の間の笹刈りは急斜面等の危険な箇所もありますが、春になると山野草の花が咲くところですので、里山の景観保護の一番の活動でもあります。



小川沿いクロガリ整備



同左



ビオトープ池の斜面



小川の堰の手入れ

今年の1月は、寒暖の差が大きく3月頃の暖かさの日もありましたが、大寒に入るとこの冬一番の寒さがやってきました。とはいえこの冬一度も融雪剤を散布する日はありませんでした。やはり暖冬なのでしょう。

花の少ない今月は、木に着目したいと思います。木の形や樹皮で、木の名前をご一考いただきたい
福岡



左上より右下へ

ウメ(元気に伸びる徒長枝) ゴヨウマツ カキ サクラ ケヤキ(箒の様な樹形)
ヤマモミジ ツバキ クリ ヒノキ

「山野草の里づくりの会」2月以降の活動スケジュール

活動日 毎週水曜日、土曜日 活動時間 9:30~15:30

2月17日(土) 椎茸の菌打ち & みんなでいかそうビオトープ:ヤマアカガエル観察

3月10日(日) SAVE_JAPAN マルシェ in いこま 生駒駅前に出張出店

4月6日(土) 古代米粉まき

活動参加、ビオトープへの入会のお問い合わせは

NPO法人山野草の里づくりの会

633-0102 桜井市三谷528番地

連絡先: TEL090-9991-3549 (村上)

<http://www.sanyasou.org/>

令和4年度環境大臣表彰受賞 地域環境保全功労者

E-mail: murakamy@maia.eonet.ne.jp

里だより編集: 事務局広報班